

Si-R G200 V01.03 変更内容一覧

□機能追加・改善

No.	項目	追加内容
1	データ通信モジュールの追加	動作検証済みのデータ通信モジュール一覧に機種を追加しました。 ※動作検証済みのデータ通信モジュール(富士通ホームページ) http://fenics.fujitsu.com/products/sir/sirg200/#supportcard
2	etherポート自動復旧設定コマンドの追加	コマンドにてetherポートの自動復旧モードの設定を可能としました。

□修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V01.00～V01.02	ipv6 ospfを有効にしたetherポートのonline/offlineを繰り返すと、装置が再起動する場合があります。
2	V01.00～V01.02	相手装置よりIPsec/IKEの接続・切断が繰り返し行われる場合に装置が再起動する場合があります。
3	V01.00～V01.02	接続先監視機能利用時に、セッション断が不正に発生する場合があります
4	V01.00～V01.02	システムログ情報を出力しない設定にできない。
5	V01.00～V01.02	通信負荷が高い場合にSi-RがPAUSEフレームを連続で送信し続け、装置再起動までetherポートからの受信ができなくなる場合があります。
6	V01.00～V01.02	ポートバックアップ機能にて同一VLAN内のポートに対してearlierモード設定すると、MASTER/BACKUPポートともに通信不能になる場合があります。
7	V01.00～V01.02	外部経路が存在する環境でshow ip ospf routeコマンドを投入すると、装置が再起動する場合があります。
8	V01.00～V01.02	使用しない設定のetherポートにもかかわらず、offline->onlineを実行すると、誤って使用可能状態となる。
9	V01.01～V01.02	動的定義変更適用後のインタフェースに関するshow bridgegroupコマンドで表示されるインタフェース情報が正しくない。
10	V01.01～V01.02	ブリッジグループ機能を使用したEoIP構成にて、VLANタグを挿抜する設定(デフォルト設定)時に通信不可となる宛先向けの通信を行うとメモリ資源が解放されず、装置ハング状態または装置が再起動することがある。
11	V01.00～V01.02	VRRP状態変化に対するアクション設定においてonline/offlineをアクションとして設定した場合、正常に実行されたにもかかわらずアクションが失敗した旨のシステムログが表示される。
12	V01.00～V01.02	IKEv1とIKEv2が混在する設定でIPsec/IKE接続を行った時、IPsec/IKE通信ができなくなったり、装置が再起動することがある。
13	V01.00～V01.02	ETHERグループ2のポートに動的定義反映にてDHCPv4クライアント設定すると、DHCPサーバから割り振られたアドレスが取得できず通信できない。
14	V01.00～V01.02	etherポートのリンクダウン/アップ繰り返し中にether定義を削除すると装置が再起動することがある。
15	V01.00～V01.02	USB通信モジュールの通信が一時的に停止し、システムログに通信モジュール断のログが記録されるが、自動的に通信が復旧することがある。
16	V01.00～V01.02	IPsec/IKE接続する環境にて接続先監視設定の動的定義反映を行った場合に、装置が再起動する場合があります。